

# まほろば・けいはんなSSHサイエンスフェスティバル 中高生ら750人が参加

主催：奈良県立奈良高等学校 共催：(公財)関西文化学術研究都市推進機構 協力：精華町、けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(K-Scan)

今年で9回目となるこの催しは、文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の取り組みで、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの一環として、情報通信フェアの最終日に毎年開催されています。

生徒と研究者や地域住民らとの間で熱心な対話が行われ、科学に向き合う生徒たちの真剣な姿に、未来の研究者を感じた1日となりました。

## 講演会

### 「血液の流れを診る」

東京大学大学院情報学環  
生産技術研究所 大島まり教授



## ポスターセッション

### 中高生と研究者の出会い ～あなたの問いが科学を創る～

学研都市およびその周辺の中学・高校18校が参加。「炎の色の並び方」「マグナスカの利用～ブーメランへの応用を目指す～」「プラナリアの多眼形成について」のほか、環境を含む幅広い科学分野の研究成果が52テーマ発表されました。



講演会后、大島教授もポスターセッションに参加されました。

研究者からのアドバイスや感想など貴重なフィードバックをもらえる機会です。